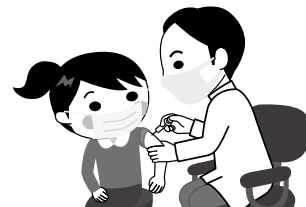


子宮頸がん定期予防接種に「9価ワクチン」が追加されます



4月から子宮頸がん定期予防接種で使用できるワクチンに9価ワクチンが追加されます。なお、医療機関によっては取り扱いのないところもありますので、予約の際に問い合わせてください。

9価ワクチンは9種類のウイルス感染を防止

子宮頸がんなど多くの病気の発生に関わるヒトパピローマウイルス(HPV)にはいくつかの種類があります。そのうち9種類(子宮頸がんの原因の80~90%を占める7種類を含む)のウイルスの感染を防ぐのが9価ワクチンです。

既に4価・2価のワクチンを1回または2回接種した方へ

原則として同じ種類のワクチンで接種完了することをお勧めします。



協力医療機関などの情報は市ホームページ(右の二次元コード)に掲載しています。

【子宮頸がん(HPVワクチン)予防接種】

●対象 小学6年生~高校1年生相当年齢の女子(本市では5月頃、標準的な接種期間である

中学1年生に予診票を送ります)

●接種回数・接種間隔

ワクチン	接種回数	接種間隔
9価 (シルガード)	1回目を15歳未満で接種: 2回	2回目: 1回目から6カ月後
	1回目を15歳以上で接種: 3回	2回目: 1回目から2カ月後 3回目: 1回目から6カ月後
4価 (ガーダシル)	3回	2回目: 1回目から2カ月後 3回目: 1回目から6カ月後
2価 (サーバリックス)	3回	2回目: 1回目から1カ月後 3回目: 1回目から6カ月後

●接種費用 無料(公費負担)

●接種方法 協力医療機関に予約し、予診票(お持ちの場合は母子手帳も)を準備の上接種
※新型コロナウイルスワクチンを接種する場合は、前後2週間の接種間隔を空けてください。
《問合せ》 ことも未来課 ☎24-9604

わがまちの障害者支援 3

《問合せ》 社会福祉課
☎24-7033

障害者の社会参加を支援する「地域活動支援センター」

地域活動支援センターは、障害のある方を対象に障害の程度、特性、能力等に応じた創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図っています。作業やレクリエーションなどをしたり、日中のひとときを過ごすなど、その人らしく暮らすことができるよう支援しています。



▲詳細

就労機会を得ることが困難な方を支援

対象は市内に住所を有する在宅の障害者等で、地域で就労機会を得ることが困難な方です。

例えば「継続的な就労は体力的に難しいが、社会との交流の場がほしい」「生活リズムを整えたり、体力をつけたい」「将来の就労を目指して、そのステップにしたい」という方が対象です。

支援内容は多彩、自分の体調に合わせて利用可能

支援内容は、手芸などの創作的活動、手工芸品などの自主製品の制作、調理実習、お菓子作り、

農作業、レクリエーション活動、日常生活相談などです。安心して過ごせる居場所として、自分の体調に合わせて利用できます。

通所の利用者負担は無料です。ただし、活動内容により材料費等は別途必要となります。見学を希望する方は、気軽に各センターへ相談してください。



▲農作業体験

《豊岡市内の地域活動支援センター》

事業所名	所在地	連絡先
ほおずき	戸牧1510-6	29-1717
ざくろ	城南町23-6	24-8382
ゆのはな	中陰301-1	34-8684
ピース	立野町18-8B棟	080-9160-4330
だんだん	竹野町椒1247	20-4155
SoLa	日高町祢布891-2	20-7104
てっせんの会	出石町小人129-23	52-5642
ぴあほのか	出石町町分492-1	20-3803
の〜ら	出石町鳥居785	20-1295

入居者を募集します(定期申込)

2023年度の市営住宅、県営住宅および特定公共賃貸住宅の入居申込みを受け付けます。

なお、既に申込みをしている方は、2023年3月31日までに申込みの効力がなくなります。引き続き入居を希望する方は申込期間内に再度申込みしてください。

《申込み・問合せ》 建築住宅課 ☎21-9018

申込期間

4月5日～28日
(水) (金)
午前8時30分～
午後5時15分
(土・日曜日を除く)

▼入居資格

- ▽ 次の要件を全て満たすこと
- ▽ 現に同居し、または同居しようとする親族がいる方。ただし、60歳以上の方や障害者など、条件により単身入居可能
- ▽ 入居者および同居者の合計収入が基準内である方
- ▽ 「一般世帯」収入月額15万8千円以下
- ▽ 「裁量階層世帯」収入月額21万4千円以下
- ※ 収入月額Ⅱ(世帯全員の年間総所得金額・控除合計金)

- 額)：12カ月
- ※ 裁量階層世帯とは、高齢者世帯、障害者がいる世帯、小学校就学前の子がいる世帯など
- ▽ 現に住宅に困窮しているのが明らかなる方
- ▽ 市税等を滞納していない方
- ▽ 入居希望者が暴力団員などでない方
- ▽ 連帯保証人を準備できる方(要件あり)
- ※ 県営住宅および特定公共賃貸住宅の入居資格は、市営住宅の入居資格と一部異なります。

▼提出書類

- 市営住宅入居申込書、県営住宅入居申込書、特定公共賃貸住宅入居申込書

▼要項配布・申込場所

建築住宅課住宅管理係または各振興局地域振興課

▼その他

- ▽ 一部募集停止となっている住宅があります。
- ▽ 入居は6月以降になります。
- 【長期待機者優先選考】

今回の募集までに連続して3年以上申込みをしたが、入居できなかった方に対して、抽選を2回受けることができます。優先選考措置を取ります。なお、市営・県営住宅の入居資格を備えていることが必要ですので、申込みの際に申し出てください。

公開抽選会

- 今回の申込者を対象に、待機順番を決定するため、次のとおり公開抽選を行います。
- ▼日時 5月14日(日)
- ▽市営住宅 午前10時
- ▽県営住宅 午前11時
- ▽特定公共賃貸住宅 午前11時30分
- ▼会場 本庁舎2階大会議室
- ▼一時保育(原則1歳半)就学前) 希望者は、4月28日(金)までに申し込んでください。



黄色い花と白い花

今は白い花の方が優勢になっていますが、かつては4月になると円山川や出石川の堤防は黄色い花で埋め尽くされました。黄色い花は、菜の花の仲間です。菜の花の仲間と言いましたが、ほとんどがカラシナでまじめにアブラナが混じっています。区別は簡単。花がついている茎の葉を見て葉に柄があればカラシナです。アブラナの葉の基部は茎を抱いています。慣れてくると葉の色や形、しわの様子でも容易に区別できます。



▲カラシナ

駆除方法

カラシナは「生態系被害防止外来種リスト(環境省)」の中の「その他の総合対策外来種」に選定されています。駆除するのが望ましい植物なのです。国土交通省が駆除のための研究もしていますが、私たちは食べてみることをお勧めします。

おいしい食べ方

堤防のカラシナ、アブラナ、ダイコンは、野菜が逃げ出したものだと言われており問題なく食べられます。ただ、堤防に生えているものはサラダとしての利用はやめて、きれいに洗って熱を加えましょう。油炒め、おひたし、多くの食べ方があり、知人がおいしいと太鼓判を押していました。

この記事が載る頃には、もう花が咲き始めています。葉はもう堅いのでつぼみを使った菜の花あえがお勧めです。葉を利用したい方は、冬から春にかけて長く利用できます。花がないとカラシナかダイコンかわからないという心配は無用。どちらでもおいしいのです。(写真・文 NPO法人コウノトリ市民研究所 菅村定昌)